

九州付近には前線を伴った低気圧があつて東に進んでいます。また、別の低気圧がサハリンの北にあつて、この低気圧から日本海に前線がのびています。

今日は、低気圧が本州南岸を進み、サハリンの北の低気圧からのびる前線が北日本を通過する見込みです。

このため、関東甲信地方は、全般に曇りで早い所で昼過ぎから雨となるでしょう。また、長野県北部では雨でしょう。

明日は、日本の南海上に前線が停滞し、前線上を低気圧が進む見込みです。

このため、関東地方南部や甲信地方南部は雨で朝晩曇り、甲信地方北部や関東地方北部では曇り時々雨でしょう。

関東近海は、今日から明日にかけて波が高く、しける所がある見込みです。

船舶は警戒して下さい。

【 土日のお天気 】

	27日 (Sat)	28日 (Sun)
	天気 最高/最低	天気 最高/最低
札幌	○→◎ 0/- 5	◎//○ 1/- 6
秋田	○ 10/ 1	◎//○ 7/- 2
仙台	◎/● 6/ 4	◎→○ 8/ 0
宇都宮	◎//● 12/ 9	◎ 11/ 2
東京	●//◎ 15/ 11	◎/● 10/ 5
横浜	●→◎ 14/ 11	◎/● 10/ 4
長野	◎//● 9/ 4	◎→○ 12/ 1
静岡	◎//● 17/ 14	◎/● 13/ 8
名古屋	◎//● 18/ 12	○/● 17/ 7
新潟	◎/● 9/ 5	◎ 8/ 2
金沢	◎ 9/ 5	◎ 11/ 3
大阪	●→◎ 14/ 11	◎→○ 15/ 6
神戸	●→◎ 13/ 10	◎→○ 15/ 7
広島	◎ 15/ 9	○//◎ 16/ 4
松江	●→◎ 10/ 6	○//◎ 13/ 4
高松	◎/● 12/ 8	○//◎ 15/ 5
高知	◎/● 19/ 14	○//◎ 19/ 8
福岡	◎/● 13/ 10	○//◎ 15/ 7
鹿児島	◎ 20/ 14	○//◎ 21/ 10
那覇	◎//● 23/ 19	○//◎ 23/ 18

(○:晴れ, ◎:くもり, ●:雨, *:雪→:のち, //:時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 **アーネスト・サトウ日記抄** 」 2010年2月20日より編集

最近の土曜日の夕方の日課のようにになっている、真砂中央図書館(文京区)へ出かけた。同館は土曜日は17時まで。それで、16時半を過ぎると、あたふたと机を片付け吾岐坂を登って図書館へ急ぎ足。つい、一か月前に比べて、随分日足が伸びた。春が確実に近づいている。

返却3冊
借出し2冊
予約1冊

以前は、散歩を兼ねて自宅のある練馬区の2つの図書館へ、散歩がてら暇つぶしに行ったものだった。1つの図書館には、血圧計があり、毎回測定した。同じ都内23区の図書館といへど、練馬と文京では、蔵書の違いもかなりあることが分かった。最近の興味のある図書は、真砂図書館にある。

萩原延壽著の「**遠い崖ーアーネスト・サトウ日記抄ー**」が目下の愛読書。昨年の秋が深まってきたころから読み始め、昨日は第9巻を読み終わった。教科書にある人物や出来事の真実や断片を、外国人(自らの日記にも毛唐の記述がある)英国人サトウの日記から窺い知ることができる。

幕末明治の英国人から見た日記による実録。そこには、1つの出来事や事件の背景から両国外交担当者たちの想像以上の長期に亘る交渉だったり、両国の外交首脳への窺いを立てながらの息詰まるやり取りと言動が記録されている。強力な海軍(黒船)力を背景にした先進国英国公使パークスの恫喝に立ち向かう若き志士たちへ寄せるサトウの思惑など。1話1話に、歴史の事実のエピソードと人間の怨念まで書き残されている。

この日記に関連して、幕末・明治維新当時の資料やドキュメンタリーがお気に入りとなっている。

どうして、
鎖国の東洋の果の島国が、急スピードで世界が驚く文明開化や近代化に成功したのか
その土壌はどうなっていたのか
幕末維新の短期間の内乱を経ての近代国家の樹立と富国への道程

日本人同士が流した血は少なくないが、世界史に例を見ない大混乱なき新秩序への道は、先進西洋各国の干渉を切り抜けた幕末維新の幕閣から開国に目覚めた薩長土の藩主と志士のひたむきな言動のすごみ。

外国(西洋)交際に苦悩奮闘しつつ、失われゆく江戸文化とその後の日本文化と精神のよりどころの模索などなど、興味は尽きない。

あくまでもサトウの日記抄と英国外交資料による、数少ない資料や書物で、当時何が起きていたのかの全貌は知れないけれど、我が国に間違いなく疾風怒濤の時代があった。若き情熱とエネルギーに満ち溢れ

た人々が生きた、今につながる時代があった。

【 e健康生活 】

「 子供の肥満、早期死亡招く 」 2010年2月13日の日記より

子供時代に肥満だった人は、早期死亡のリスクが高いことが、米国の研究グループの調査で明らかになりました。調査結果は11日付の米医学誌ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディスン(電子版)に掲載されました。

【 概要 】

1. 研究グループは、1945年～84年に生まれた米先住民で、糖尿病を患っていない4857人を追跡調査した。
2. 内因性の病気で死亡した166人を調べた結果、**子供の時に肥満だった人の死亡率は、やせていた人の2倍を超えていた。**

(農業新聞2月13日 より編集)

子どもといえば、やせているというより、まだまだ肉(脂肪)がそれほどついていず、活発な動きをするのが普通です。近所の子供を見ていると、本当によく動き回るのに感心します。それでも、中には、丸丸と太って動きの緩慢な子も増えています。そのような子は大方、ベンチに屯してゲームに夢中。

大人の肥満と違って、肌もたるんでいないし艶もあるけれど、歩く姿もだらだらしていたり活気がなく、うつ向き加減な気がします。卵がさきか鶏が先かの話になるけれど、動きが緩慢な生物は、生存競争に敗れてしまうのは、生物学の常識ですね。

子供の肥満は親の肥満のコピーそのもの、一見して親子と分る相似形になっていることも多い。これは遺伝もあるだろうが、どちらかといえば、食を含む生活習慣の結果と見ても見当外れではないでしょう。

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気! *****

世界初 「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム (**経費節減効果NO1**)

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に 「馬場コンディション情報」
<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ 「ミスター防災」
<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「直売所NOW」
<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「ウェザー&ビューティ」
<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
